授業科目	＊母子栄養学					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	天本　理恵						
授業概要	周産期の助産ケアをはじめとするウイメンズヘルスケアにおける対象者の栄養管理について解説する。具体的には、周産期の健康教育に必要な栄養管理のあり方、周産期の病態における必要な食事療法について解説する。母乳栄養の必要性や人工栄養について、講義、調乳を通して理解を促す。乳児期・幼児期・思春期・更年期の各ライフステージに起こりやすい栄養関連疾患をふまえた健康教育に必要な栄養管理について解説する。						
授業形態	講義・演習			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．周産期の助産ケアをはじめとするウイメンズヘルスケアにおける対象の栄養管理（マタニティサイクル各期、乳幼児期、思春期、更年期）について説明することができる。（DP1-1）。 2．妊娠期と乳幼児期の病態栄養およびその栄養管理について説明することができる（DP1-1）。 3．周産期の助産ケアをはじめとするウイメンズヘルスケアにおける対象の栄養管理について根拠に基づき論理的に思考・判断ができる。（DP-2-1）
理想的レベル	標準レベルに加え、以下の項目を満たすことができる。 1．周産期の助産ケアをはじめとするウイメンズヘルスケアにおける対象の栄養管理（マタニティサイクル各期、乳幼児期、思春期、更年期）について説明することができ、対象者に栄養管理を含めた最適な健康教育の実施ができる。 2．妊娠期と乳幼児期の病態栄養およびその栄養管理について説明することができ、医療現場での知識と実践の統合を図ることができる。 3．周産期の助産ケアをはじめとするウイメンズヘルスケアにおける対象の栄養管理について根拠に基づき論理的に思考・判断ができ、対象者の健康管理・健康教育に活かすことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	90%	
小テスト	10%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	MI11105J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習：テーマに関して、教科書を読み講義に臨む。 復習：配布したスライド資料、教科書の見直しを行い、ポイントはノートにまとめるか、配布資料に書き込み、次回の講義につなぐようにする。	4

授業計画

第１回	・栄養について（導入） 　エネルギーと栄養素および日本人の食事摂取基準について概説する。 ・妊娠期栄養（１） 　妊娠期の栄養と妊娠期の食事摂取基準 2020 年版について解説する。
第２回	妊娠期の栄養（２） 　妊娠期の栄養アセスメント、食生活指針、妊娠前期、中期、後期にふさわしい栄養管理、食事提供について解説する。
第３回	妊娠期の栄養（３） 　妊産婦の病態栄養(妊娠貧血・妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病など)とその栄養管理について解説する。
第４回	・妊娠期の栄養（４） 　妊産婦の病態栄養(妊娠貧血、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病など)の続きと、それらの栄養管理について解説する。 　妊娠期の食事管理、栄養管理について留意すべきことについて解説する。 ・授乳期の栄養（１） 　授乳婦の栄養アセスメント、授乳と栄養、授乳期のレシピ例等について解説する。
第５回	授乳期の栄養（２） 　授乳婦の栄養アセスメント、授乳と栄養、授乳期のレシピ例等について解説する。
第６回	乳児期の栄養 　乳児期の栄養アセスメント、調乳、離乳食（授乳・離乳支援ガイド）について解説する。
第７回	乳幼児期の病態栄養 　乳幼児期の病態栄養について解説する。
第８回	思春期栄養および更年期栄養 　成長期の貧血、ダイエット、摂食障害、更年期障害と栄養などについて概説する。
テキスト	・助産学講座 3　基礎助産学 3　母子の健康科学　医学書院 ・助産学講座 6　助産診断・技術学 2 〔1〕妊娠期 必要に応じてパワーポイントの資料や参考資料を配布する。
参考図書・教材／データ	・「厚生労働省策定　日本人の食事摂取基準　2020 年版」第一出版 K.K ・・・厚生労働省のサイトからもダウンロードできます。

ベース・雑誌等の紹介	・妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針～妊娠前から、健康なからだづくりを～　厚生労働省 ・授乳・離乳支援ガイド　　厚生労働省 ・乳児用調整粉乳の安全な調乳、保存及び取扱いに関するガイドライン（WHO/UNICEF）　厚生労働省 ・病気がみえる 10　産科第 4 版　　MEDIC MEDIA ※献立集を本学図書館で参考にする場合は、「応用栄養学」で検索してください。 （応用栄養学の中の母性栄養、乳児栄養を参考にしてください。 ） または、指定図書に妊娠期、授乳期や乳児期のレシピ集を指定しています。
課題に対するフィードバックの方法	課題はないが、講義内容に関する理解度（予習・復習を含め）を小テストなどで評価します。小テストは講義時間に解説し、提出して頂きます。返却は次の講義時です、質問等にも回答します。
学生へのメッセージ・コメント	【理解に必要な予備知識と技能】既習の母性看護学、栄養学（臨床栄養学含む）の知識が必要になります。栄養学に関しては、母子栄養学の講義の中で、栄養学の基本も概説する予定にしていますので、実務が長い学生さんも安心して受講してください。 【授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ】既習の母性看護学、栄養学と関連づけて展開するので復習、自己学習をしておいて下さい。妊産婦、授乳婦の方は食事に大変興味をお持ちです。この機会に色々な食品にふれて、講義で学んだ栄養に関する知識と関連付け、対象者からの食事の相談等に活かして欲しいと思っています。試験の詳細は授業の中で説明します。